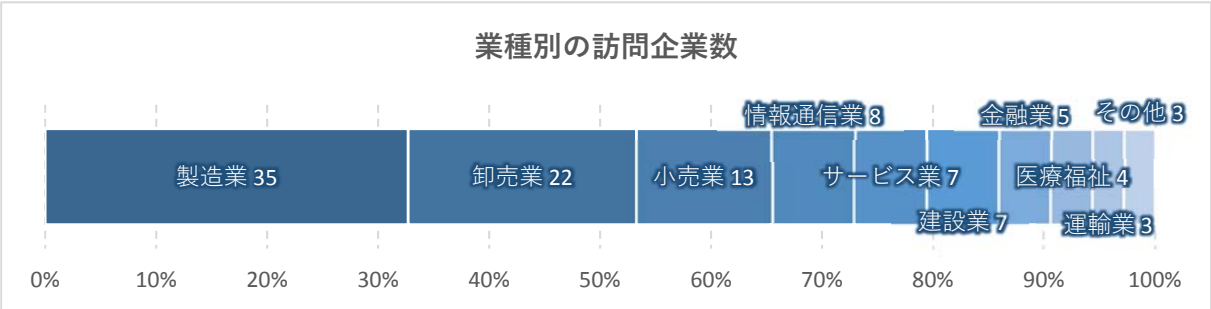


2024 年度 長岡大学 就職先ヒアリング

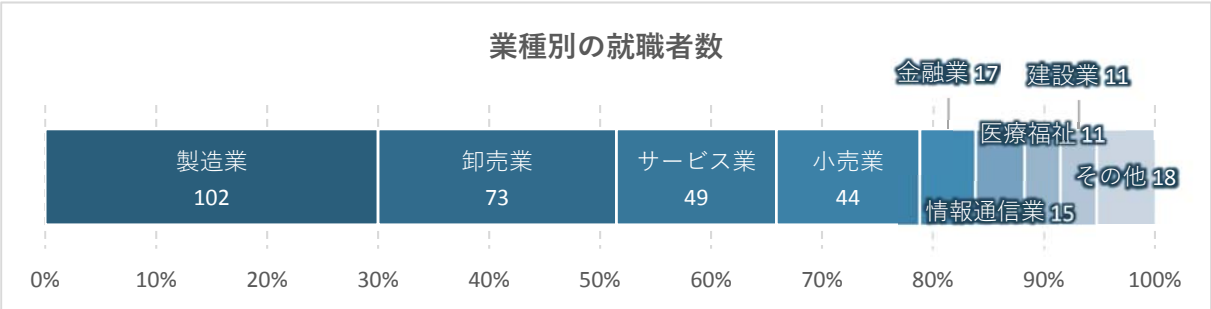
長岡大学 大学評価室

2023 年 10 月から 2024 年 9 月にかけて、就職支援室職員が卒業生の就職先企業・団体を訪問し、就労状況や退職した場合においてはその理由、また求める人物像や本学の良いところ・悪いところなどを採用担当者から聞き取ったものをまとめた。

訪問企業・団体数は、延べ 108 社、複数回訪問している企業等もあるため、実数では 107 社である。
業種別には、製造業が 35 社、卸売業が 22 社、小売業が 13 社等であり、詳細は以下の「業種別の訪問企業数」の通りである。訪問企業数が 2 社以下の業種については「その他」にまとめている。



訪問企業 107 社に就職した卒業生 355 名の内、各企業等への訪問時点においての在籍数は 262 名で、継続在籍率は 73.8%である。
昨年度の同様の調査では 340 名中 295 名の在籍で継続在籍率 77.9%，一昨年度の同様の調査では 289 名中 216 名の在籍で継続在籍率 74.7%であった。



個別企業等別に在籍者や退職者を調査をしているため、企業別・業界別の在籍率も集計はしているが、ここでは省略する。

退職理由

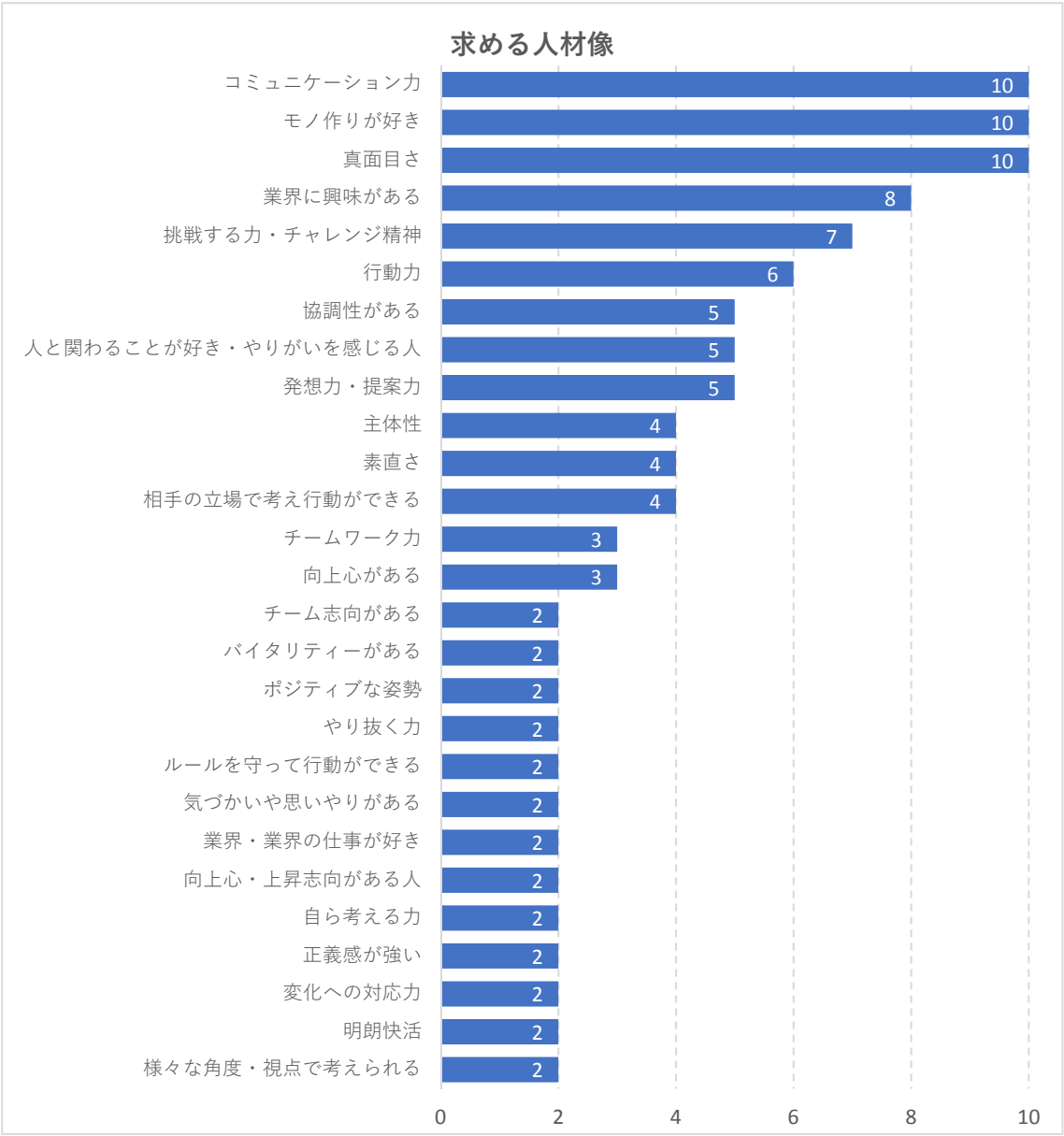
訪問先企業等から聞き取りをした退職理由について、記述内容をそのまま Web サイト上でワードクラウド処理ができる「ユーザーローカル」で処理をした結果が以下の図である。

この図は、ワードクラウド処理時にシステムが、スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさに図示したものである。



訪問先企業等が求める人材像

(聞き取り内容に基づき、類似した意見を同一項目として集約)

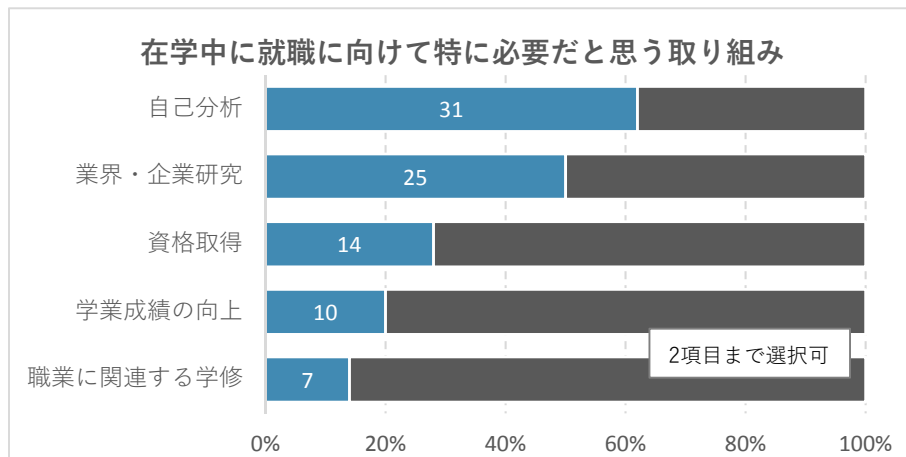


その他、以下のような回答が各 1 件ずつあった。

- いたわる気持ちがある
- お客様と楽しく会話ができる
- コツコツ努力できるタイプ
- やる気
- リーダーシップ (周囲を巻き込む)
- リーダー像がしっかり描ける
- 何事にも真摯に取り組む
- 課外活動の経験豊富な人
- 協調性 (チーム力が重要視)
- 強い気持ち
- 自分の意見を言える
- 失敗を恐れずクリアできる力がある
- 失敗を恐れずに前向きに考えられる
- 失敗を恐れず頑張れる
- 周囲を巻き込んで新しい発想を考える
- 情報に敏感である
- 状況を冷静に判断できる
- 信念を持って取り組める
- 心身ともに健康
- 新しいことを学ぼうと努力する
- 人の話を聞くことができる
- 誠意をもってお客様に向き合える
- 対応力がある
- 当り前のことがしっかりできる
- 熱意のある人
- 変革する力
- 報連相がしっかりできる
- 礼儀やマナーをわかまえる
- 論理的な思考を持って考えられる
- 色々なタイプの人材が欲しい
- 社会人基礎力を有する人

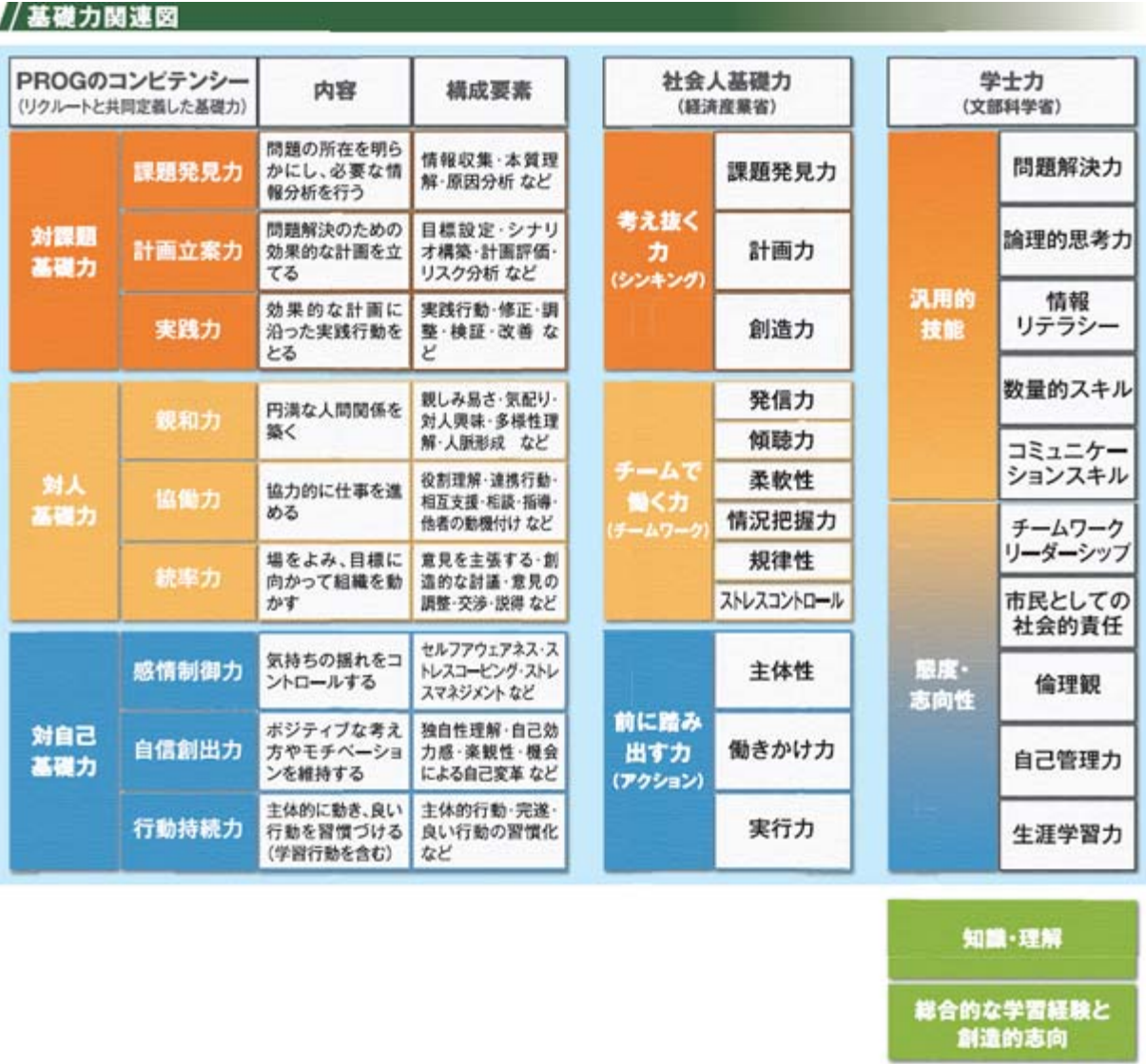
一般的に言われる「コミュニケーション力」に加え、製造業であれば「モノ作りが好き」、情報通信業では「ITに興味がある」、運輸業では「輸送業界に興味がある」など、その業界に興味・関心を持っていることが求められている。本学卒業生に限らず、その業界の特徴等を理解し、興味・関心の高い学生を採用したいという思いが推測される。

卒業生アンケートでも、「就職に向けて特に必要と思う取り組み」の上位は「自己分析」の 31 件で回答者の 62.0%が選択している。次点が「業界・企業研究」の 25 件で回答者の 50.0%が選択している。



上記でまとめた訪問先企業等が求める人材像は、あまりに項目が多いため、以下の図に示すリアセックが実施をしている PROG のコンピテンシーで分類をした。

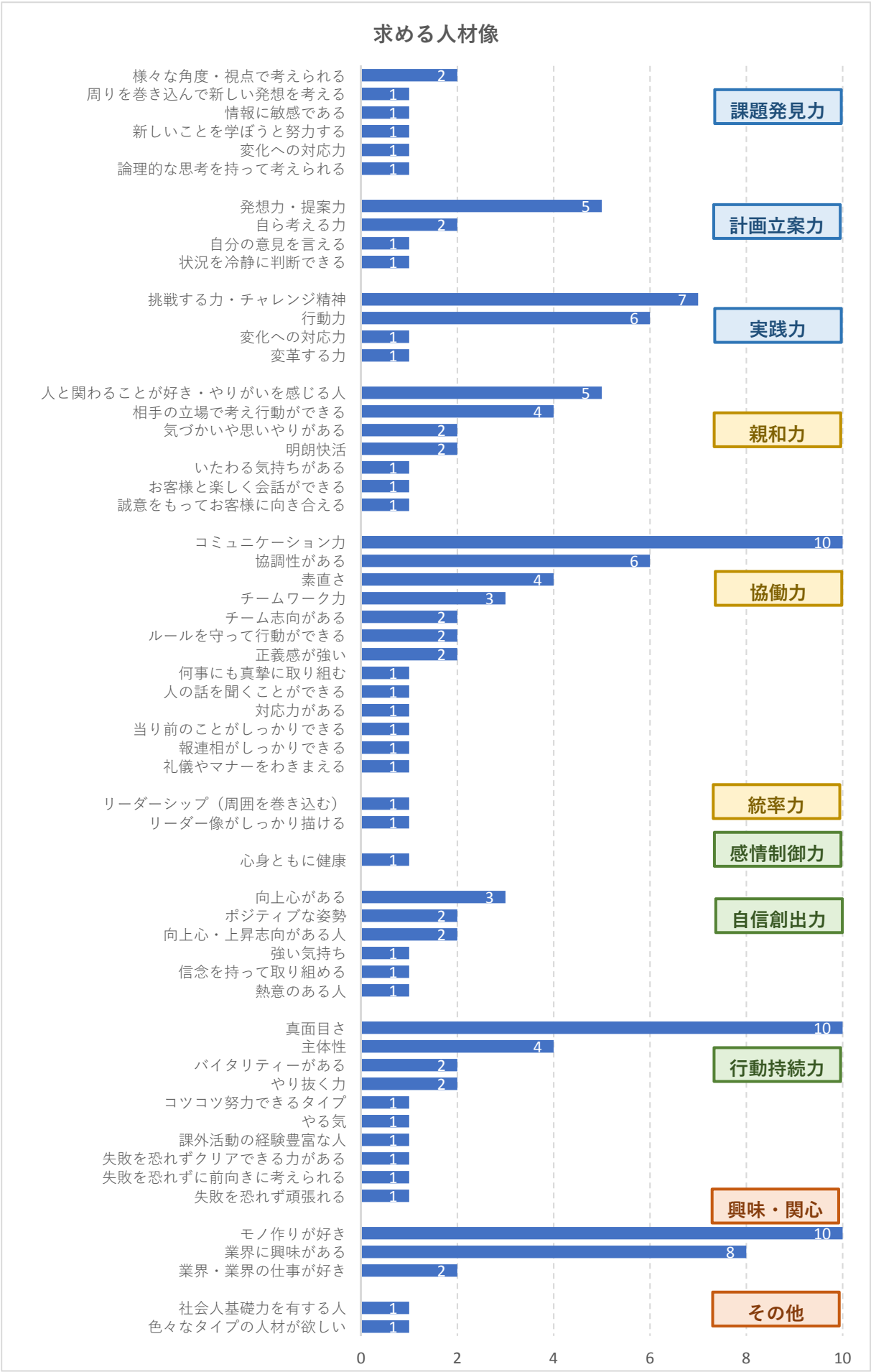
ここでの各カテゴリーへの分類はあくまでも、このカテゴリーが最も近そうであるというカテゴリーを選択しており、複数のカテゴリーで迷うものもある。



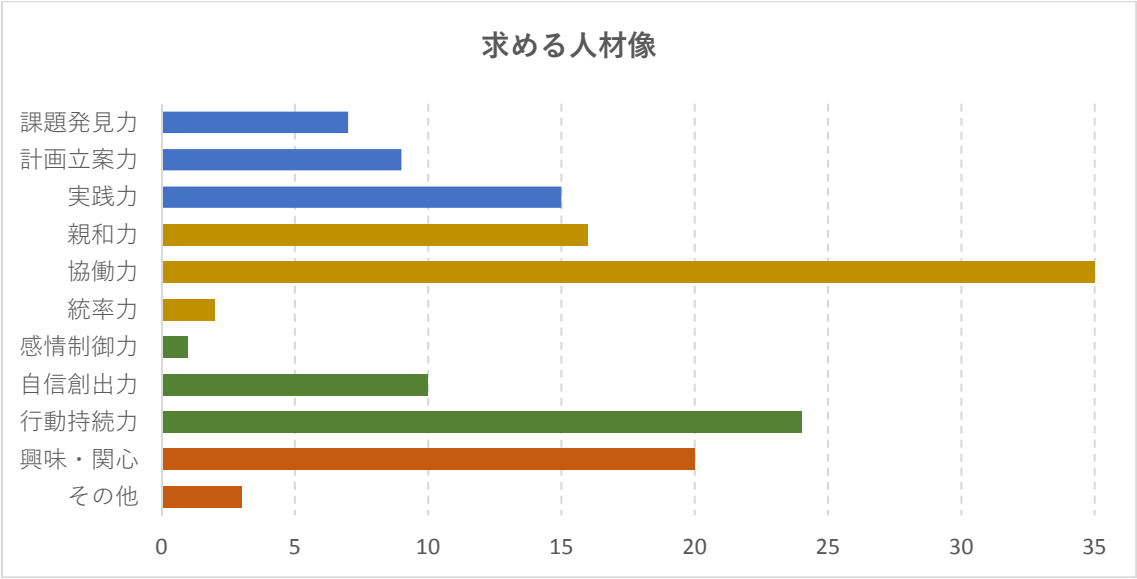
コンピテンシーの概要と社会人基礎力，学士力との比較

(出所：「リアセック PROG テスト Web サイト」https://www.riasec.co.jp/prog_hp/competency.html)

まずは、先ほどの訪問先企業等が求める人材像のグラフをカテゴリー別に分けて示す。

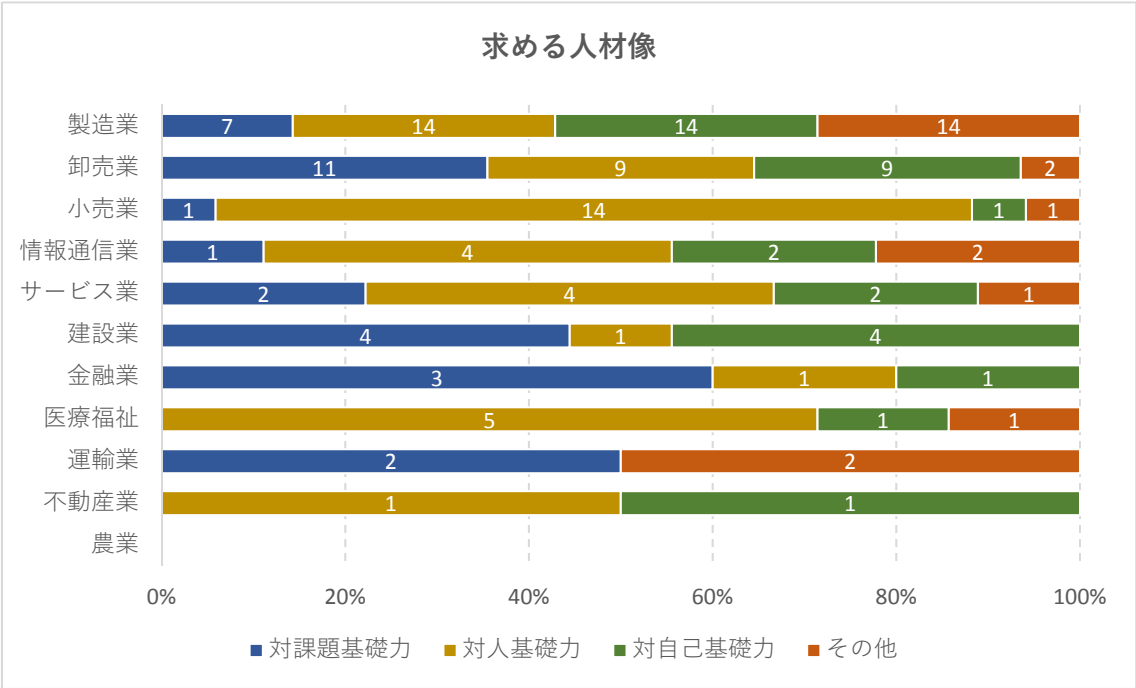
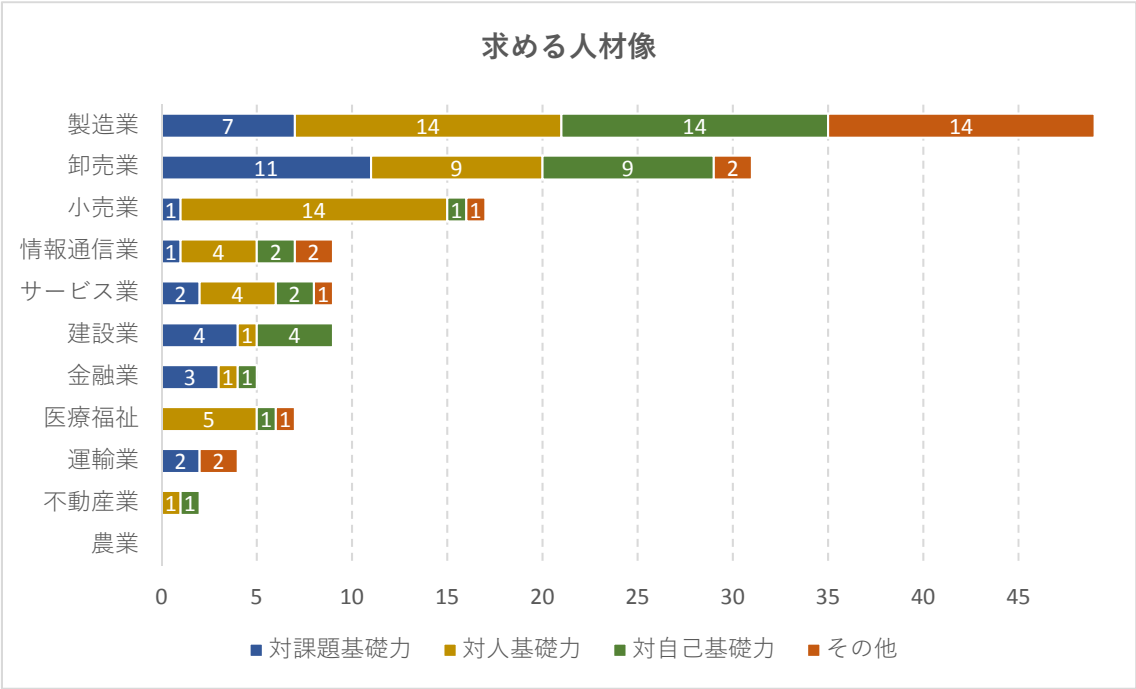


さらに、上記の各項目を9つのPROGのコンピテンシーのカテゴリー等に集約したものが以下のグラフである。



全体としては、「対人基礎力」が最多で、次いで「対自己基礎力」、「対課題基礎力」が続いている。
業種によって求める人材像が異なっているかを確認する。

まずは、回答数で集計したものを示すが、就職先企業や訪問企業は、業種によって偏りがあるため、次に各業界内での割合も示す。



業種別に見ると小売業や、建設業、金融業については、それぞれ対人基礎力や対課題基礎力に求める人材像がやや重きを置いていることがこのデータからは読み取ることができる。

[illegible]

訪問先企業等の採用担当者が考える本学の良いところ

訪問先企業等から聞き取りをした本学の良いところについて集計した結果は以下の通りである。

